

～手話について～

🔥 手話の基礎知識

① 手話という言葉

- ・手話は手指の動きを中心にして、頭や上体の動きと顔の表情、視線、口型などによって表現し、視覚によって受容される言語です。
- ・手話は音声言語とは異なる独自の文法と語彙の体系をもつ言語で、音声言語に対応した手話単語人を単に並べたものではなく、また、ジェスチャーやパントマイムとも根本的に異なります。
- ・手話は世界共通ではなく、国や地域によってそれぞれ異なります。また、音声言語が同じでも手話は全く別系統になっています。（例イギリスとアメリカの手話）
- ・手話にはたいてい方言があり、また、世代差もあります。

② 手話の話者

- ・手話を母語とするのは、ろう学校の児童集団に属していた人（ろう者）やろう者である親のもとで育った聴者（耳の聞こえる者）など、子供時代に手話を話す環境にあった人です。
- ・手話を第二言語として学習した人々には、子供時代を普通学校で過ごした聴覚障害者（難聴者、中途失聴者）、聴者の手話学習者や手話通訳者などがいます。
- ・手話の話者は、程度の差はありますが、たいていその地域の音声言語（あるいは音声言語にもとづく書記言語）とのバイリンガル（二言語使用者）です。そのため、手話にはその地域の音声言語の影響が少なからず見られます。

③ 手話の社会的認知

- ・手話は多くの国で正当な社会的認知を得ていません。ろう者の教育においても、母語である手話が教育言語として公式に認められていない国が数多くあります。日本もその一つです。

《第13回世界ろう者会議決議(1999)》

- ・ろう者は母語として手話を習得する権利を持ち、文化的、言語的マイノリティであることを再確認する。
- ・ろう児は手話と書きことばによるバイリンガル教育を受ける権利を保有していることを再確認する。



「こんにちは」

胸の前で両手の人差し指を立てて、人差し指を曲げる。

🌸 手話 ～ あいさつ編 ～

「おはようございます」



- ①右手を握って、ほっぺたにあてる。
- ②ほっぺたをなぞるように、あごまで下げる。
- ③胸の前で両手の人差し指を立てて、人差し指を曲げる。

「こんばんは」



- ①手のひらを前に向け、顔の横に置く。
- ②手のひらを顔の前で交差する。
- ③胸の前で両手の人差し指を立てて、人差し指を曲げる。

「ありがとう」



- ①左手は胸の高さで手のひらを下に向ける。右手は左手の甲に垂直に置く。
- ②右手を上を上げる。

「楽しい」



- ①左右の手のひらを胸の前で内側に向ける。
- ②手を上下に振る。
(顔は笑顔で)

「さようなら」



- ①右手の手のひらを外側に振る。
- ②手を左右に振る。
(日常のバイバイと同じ)

「元気」



- ①胸の前で両手を握り、ひじを横に出す。
- ②手を上下させる。

「好き (～したい)」



- ①あごの下 (首のあたり) で右手の親指と人差し指を広げ、あとは握る。
- ②親指と人差し指をくっつけながら、手を下にする。

「嫌い (イヤ)」



- ①あごの下 (首のあたり) で右手の親指と人差し指をくっつけ、あとは握る。
- ②指をはじくように、親指と人差し指を離す。
(手を少し手前に出しながら)

「疲れた」



- ①手の甲を外に向け、手のひらを広げ胸の前に置く。
- ②手を下に向けて力を抜き、だらっとする。
(顔も疲れた表情)